

図書館へ行こう

本は、市内の図書館・図書室でも貸出・返却できます。

おすすめの
新刊

『夜の谷を行く』

著/桐野 夏生
出版社/文藝春秋

昭和46年、連合赤軍は、あさま山荘事件と山岳ベース事件の二つの事件を起こした。彼らが引き起こした事件から40年余が経ち、主人公の西田啓子は、服役を経て静かに暮らしていたが…『月刊文藝春秋』連載を単行本化。



『12色からはじめる 水彩画混色の基本』

著/野村 重存
出版社/大泉書店

絵具の基本的な使い方から、混色のやり方までをていねいに解説した本書。また、彩りゆたかな水彩画を描くために、いろいろな混色の使用例も紹介しています。



『おいしゃさんが ともだちだったとき』

文/中川ひろたか
絵/丸山 誠司
医学監修/吉澤 穰治
出版社/保育社

お医者さんが大嫌いだっとうらうくん。でも、大人になった今では、子どもたちの病気を治すお医者さんです。作者は「ないた」で日本絵本大賞を受賞した中川ひろたか。医師や治療に対する理解を促すストーリーを、親子でお楽しみください。



『たんぼに畑に 笑顔がいっぱい』

文/浜田 尚子
出版社/佼成出版社

福島県喜多方市の全市立小中学校では「農業科」を導入しています。児童が、授業として、米や野菜を作り収穫し調理方法も学ぶという、全国初の試みの軌跡。田畑で笑顔を輝かせる子どもたちの姿に、農業が持つ「人を育てる力」が見えてきます。



『アランの歯は であかいぞこわーいぞ』

著/ジャーヴィス
訳/青山 南 出版社/B.L出版

毎日、1本につき最低10分かけて歯みがきをしているワニのアラン。大きなピカピカの歯でジャングルのみんなをこわがらせているのですが、実はアランには秘密がありました。6月の「虫歯予防デー」[歯の衛生週間]にぴったりの楽しい絵本です。



各図書館・図書室連絡先

- 平戸図書館 ☎22-4017
- 永田記念図書館 ☎28-0128
- 南部公民館図書室 ☎27-0047
- 生月支所図書室 ☎53-2111
- 田平町中央公民館図書室 ☎57-0207
- 大島村公民館図書室 ☎55-2985

図書館ホームページ

http://www.hirado-lib.jp
携帯電話からQRコードを読み込んで簡単にアクセスできます。



図書館のイベント情報

会場	主なイベント	開催時間
平戸図書館	おはなし会 (おはなしのへや)	毎週日曜 午後2時~
	赤ちゃんおはなし会 (おはなしのへや)	14日(水) 午前10時30分~
	[みんなdeシネマ] (COLAS平戸ホール) [君に届け] (邦画:128分)	17日(土)・22日(木) 午後2時~
	ライブライリーコンサート (COLAS平戸ホール) 結成21年目の生月のコーラスグループ・メリーママが「生月合唱曲」を歌います。(予定)	24日(土) 午後7時~
	COLASまつり	10日(土)・11日(日)
永田記念図書館	おはなし会 (ふれあいセンター児童室)	3日(土)、10日(土)、17日(土)、24日(土) 午後2時~

今月の休館日 平戸図書館：なし 永田記念図書館：6日(火)、13日(火)、20日(火)、25日(日)、27日(火)

各地域の食生活改善推進員が紹介します！ ③

今月のレシピ

☎保健センター健康づくり推進班 ☎57-0977

『トマト寒天』

【材料(4人分)】

- トマト……………中1個
- 水……………150ml
- 砂糖……………大さじ3
- 粉寒天……………2g
- レモン汁……………小さじ1

【作り方】

- ① トマトは湯むきする。一口大に切ったトマトは、鍋に入れ砂糖を加え火にかける。トマトがトロロになってからレモン汁を加える。
- ② 別の鍋に水と粉寒天をふり入れ火にかけ煮溶かし、1~2分沸騰させる。
- ③ ①の鍋に②の寒天液を加えよくかき混ぜ、あら熱を取り容器に入れ冷蔵庫で冷やす。

【栄養(1人分)】

- カロリー 65kcal ●たんぱく質 0.5g ●脂質 0.1g ●塩分 0g



おやつで食べよう！

トマトの赤い色素は、リコピンという成分で、強い抗酸化作用を持ち、がんの予防に効果的と言われています。

リコピンの働きは完熟したものの方が強く、脂質と一緒にとると吸収が良くなりますよ。おやつ感覚で食べてください。



南部支部えぶろん会
やまuchi
山西ルリ子 さん

田平初のミサが捧げられた「横立地区」 (田平町横立地区)

☎文化交流課文化遺産班 ☎内線2278

田平町南部に横立という地区があります。「横立地区」は、明治19年(1886年)に黒島(佐世保市)から3家族、出津(長崎市)から4家族のカトリック信者の移住によって開拓が始まった集落であり、建立された移住記念碑がその歴史を物語っています。

「昔の記録を見ると、開拓がいかに大変だったのかよく分かる」という今村國男さんは、明治19年に田平から横立に移住してきた家族から数えて4代目にあたります。「昔は、横立から田平天主堂まで、毎週40分ほどかけて歩いて通っていた」という苦労話もありながら、一方で、代々継承してきた信仰や先祖が開拓して

きた自分の町に誇りを持っていることが伝わってきます。

横立は田平で最初にミサが捧げられた場所で、その家は、現在取り壊され、山の中にある石積みなどがその痕跡を今に残しています。また、山の中にある第1世代の移住者の名を記した墓碑の周囲に、より古いものと思われる積石墓が並んでいることから「明治19年以前に、横立に潜伏キリシタンがいた証拠ではないか」と今村さんは思いを馳せます。

「横立地区」は、大正7年(1918年)に田平天主堂が建てられ、信仰の場所が瀬戸山地区に移った後も、地域の人たちにより、かつての信仰の場が語り継がれています。

私のまちの宝探し

このコーナーでは、地域に眠る小さなお宝を紹介します。
vol.3



畑の奥の山の中に、田平で最初にミサが捧げられた住居跡がある。



いまむら くにお
今村 國男 さん
田平町